

遠野町地域教育協議会広報

令和元年9月5日発行 第47号 編集・発行 遠野町地域教育協議会・遠野地区公民館
地域教育協議会の基本理念

「元気な子どもは 町のシンボル みんなで声かけ 光らせよう」

—遠野町地域教育協議会・遠野地区公民館—

『遠野町地域教育協議会』は

地域の子供たちの応援団です!!



遠野町地域教育協議会は、遠野町内の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校、児童館、PTA、地域の各団体の代表など27名で構成されています。子どもたちの応援団として、地域の力で子どもたちを育てることを目標に10年以上活動をしています。

今年度は「地域で育む心豊かでたくましい子ども」をテーマに、以下の重点取組項目について、様々な事業を関係機関や団体と協力し実施して参りますので、町民の皆様のご協力をお願いします。

(1) 全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」への取組

- ア 「あいさつ運動」と「会話アップ運動」の展開
- イ 幼保・学校間交流の推進と情報提供の強化

(2) 共通取組事項(地域の教育課題)「早寝・早起き・朝ごはん」への取組

- ア 早寝・早起き・朝ごはん運動の展開と実践
- イ ラジオ体操の推進
- ウ 徒歩での登下校の推進



(3) 共通取組事項(地域の教育課題)「読書活動の推進」への取組

- ア 「家庭読書」の推進

(4) 特別取組事項(遠野町の優先課題)「地域を支える人材の育成」への取組

- ア 地域活動への積極的参加
- イ 三世代交流の推進

(文責：遠野町地域教育協議会事務局)

ふるさと 遠野に学び、ふるさと 遠野を語れるとおのびと 遠野人の育成

これは、遠野中学校の「まなびフェスト・そだてフェスト」に掲げているテーマです。本校の学校教育目標「学びの心をもって知性と体力を磨き、郷土を愛し、たくましく未来を拓く生徒の育成」の達成に向け、日々生徒とともに教職員一同、学校づくりに邁進しております。

学校通信「夢拓く」より、今年度の活動を紹介いたします。

頑張れブラジル代表～世界最強チームを応援！

パラリンピック4連覇中の世界最強チームである視覚障がい者5人制サッカーブラジル選手団の合宿が遠野市であり、本格的な練習が7月8日からサッカー場で行われました。練習の応援、サポートを遠中の3年生が担当しました。想像以上に激しいプレーとキレのあるドリブル、狙いすましたシュート。視覚障がいのある選手が、音を頼りにプレーするブラインドサッカー。声によるコミュニケーションから生まれる正確なパスや相手をかわず動きに強い衝撃と感動をおぼえました。

生徒は、休憩中の応援やボール拾い、選手への取材などを行いました。「かりんちゃん」「くるりんちゃん」役は暑い中、汗びっしょりで愛嬌を振りまき、選手団に喜んでもらいました。

【世界王者ブラジル代表&応援した
3年2組+遠野分教室の生徒】



「地域社会に奉仕する」というJRCの精神から生徒会が企画したクリーン大作戦が6月21日に行われました。各校外班に分かれ、自分の地域の清掃活動やゴミ拾いなどのボランティア活動に取り組みました。

クリーン大作戦！ 地域のために！

各区の区長さん、綾織地区と附馬牛地区は地区センターの職員の皆さま、お忙しい中、作業内容をアドバイス頂いたり、当日子ども達に付いて下さったりしていただき、ありがとうございました。おかげさまで、クリーン大作戦

を無事実施することができました。これからも地域の一員として頑張っていきたいと思います。

【左】程洞稲荷神社の水路をなおした下組町のメンバーとお世話いただいた区長の佐々木悦雄さん
【右】遠野駅周辺の草取り作業をする遠野7区の生徒

